

# 議会とまちづくりを語る会

開催日時：令和6年2月27日（火） 13：30～

参加団体：砥部町老人クラブ連合会 総務部 18人

Q.議員定数の削減を

A.減らす方向で検討し、9月議会までには決定したい。

Q.免許返納後の交通手段にのりあいタクシーがあるが、区域を広げてほしい

A.のりあいタクシーの利用は増えており、予算も増額した。伊予鉄バスの路線を維持しながら、利便性も考えて検討していく。

Q.温泉バスは引き続き運行するのか

A.運行の時間帯は変わるが運行する。

Q.町内の空き家事情と対策は

A.令和3年12月～4年1月の実態調査では、380戸が空き家。空き家対策計画による対応で、所有者への連絡や取壊費用の補助、空き家バンクの利用を案内している。危険家屋は取り壊し支援があるが、個人の承諾なしには何もできないのが現状。

Q.移住促進への取り組みは

A.地域おこし協力隊員（1名）が、空き家対策と移住を推進している。

Q.地産地消の推進は

A.野菜を給食の材料として使っている。

あなたの意見を

議会へ

Q.不登校やひきこもりの現状と相談窓口・対策は

A.不登校…小学校22人、中学校34人（令和6年1月時点）で、学校教育課や県総合教育センター等が窓口となり、スクールソーシャルワーカーやハートなんでも相談員に相談できる。

A.ひきこもり…9人を支援中。若い男性に多い傾向。年齢によって担当が違い、保健センターが窓口で伴走型の支援をしている。

Q.山村留学センターの今後は

A.施設の改修を検討、継続して全国募集を行う。

Q.带状疱疹ワクチンの接種助成は

A.現状は考えていないが、国の動向を注視し、引き続き取り組む。

Q.議員の住民座談会への参加を

A.数名は参加しているが、呼びかけていく。



※貴重なご意見を多数いただきましたが、一部抜粋しての掲載になっています。